

様式第1号

会 議 録

会 議 の 名 称	平成30年度 第4回 教育振興基本計画審議会
開 催 日 時	平成30年5月31日(木) 午前10時から正午
開 催 場 所	所沢市役所604会議室
出 席 者 の 氏 名	佐藤 英樹、大越 沙弥華、長尾 由紀子、新藤 康夫、赤堀 侃司、高橋 敏、関 直規、天野 正博、長谷川 陽子、牧野 和江、安田 政洋
欠 席 者 の 氏 名	柏崎 年己、宮井 俊充
説明者の職・氏名	
議 題	<p>1 開会 2 挨拶 3 議事 (1) 第2次所沢市教育振興基本計画素案の「第1章」について (2) 第2次所沢市教育振興基本計画素案の「第2章」について (3) 第2次所沢市教育振興基本計画素案の「第3章」について (4) その他 4 閉会</p>
会 議 資 料	<p>資料 第4回所沢市教育振興基本計画審議会 次第 資料 第4回所沢市教育振興基本計画審議会 座席表 資料 所沢市教育振興基本計画審議会 平成30年度事務局職員名簿</p> <p>議事資料 第2次所沢市教育振興基本計画素案(第3章まで) <第2次計画素案></p> <p>参考資料 所沢市教育振興基本計画(平成23~30年度) <第1次計画></p> <p>参考資料 基本理念 追加した文言の解説</p>
担 当 部 課 名	<p>教育総務部長 美甘 寿規 学校教育部長 岩間 健一 教育総務部次長 師岡 林 学校教育部次長 戸村 達男 文化財保護担当参事 木村 立彦 保健給食担当参事 池田 隆人 教育施設課長 森田 幸夫 社会教育課長 稲田 里織 スポーツ振興課長 海老沢 康子 所沢図書館長 中村 まさみ 生涯学習推進センター所長 倉富 恵理子 教育センター所長 米澤 三八子 教育総務課 教育総務担当参事 千葉 裕之 主幹 安田 幸雄 主任 葛貫 和也、柳瀬 美紀 教育総務部 教育総務課 電話 04-2998-9232</p>

様式第2号

発 言 者	審議の内容(審議経過・決定事項等)
事務局	開会
美甘部長	挨拶
事務局	出席者の人数が全委員の過半数に達しているため、当審議会の規定により、会議の成立を報告。傍聴者1名。
事務局	(1) 第2次所沢市教育振興基本計画素案の「第1章」について第2次所沢市教育振興基本計画素案(第3章まで)に基づき説明
会長	第1章について自由にご意見いただきたい。
委員	「6 教育を取り巻く社会の動向」について、「(5) 地域社会、家族の変容」は、「(1) 人口減少社会の到来と少子高齢化の進展」と関連しているので、「(2)として2番目にあった方が理解しやすいと感じる。
千葉参事	国の計画を参酌し重要度を考え並べたものであるが、順番については意図があるものではないため、検討させていただく。
委員	「5 教育大綱」について、1行目「所沢市は真に子どもを大切にすマチとなろう。」のマチが片仮名であることの意味を伺いたい。
千葉参事	教育大綱については、市長部局所管となるため、市長部局に確認したことをお伝えする。「マチ」が片仮名なのは、1点目として、「町」や「街」では、区域や建物を表わしているように捉えられがちであること、2点目として、所沢市全体で進めている「マチごとエコタウン所沢構想」で使用している「マチ」が片仮名であること、3点目として、「まち」では文章中に溶け込んでしまうことから、「マチ」と片仮名で表現したということである。
会長	続いて第2章について、事務局から説明をお願いしたい。
事務局	(2) 第2次所沢市教育振興基本計画素案の「第1章」について第2次所沢市教育振興基本計画素案(第3章まで)に基づ

	き説明
会長	「第2章 第1次計画の成果と課題」に記載されている、方針や目標はどこかに定義されているか。
事務局	第1次計画の2ページ施策体系図をご覧いただきたい。
会長	第1次計画の基本方針1、基本方針2に基づいた「第2章 第1次計画の成果と課題」であるということか。
事務局	その通りである。
千葉参事	「第2章 第1次計画の成果と課題」では、これまでの審議会でご意見いただいた課題を反映していることを補足させていただく。
会長	「第2章 第1次計画の成果と課題」では、これまでの審議の内容を課題として整理しているということである。踏まえて意見をいただきたい。
副会長	12ページ1番上「基本方針を2 あらゆる世代が生き生きと輝く地域づくり目指します」となっている。
千葉参事	「基本方針2 あらゆる世代が生き生きと輝く地域づくりを目指します」に修正させていただく。
委員	今後の課題を踏まえて「第3章 本市の教育の目指す姿」につながるという見解でよいか。
千葉参事	今後の課題を踏まえて「第3章 本市の教育の目指す姿」の基本理念、基本方針、基本目標、主要施策につながるものである。
会長	平成30年度まで第1次計画に基づいて施策を進めているところであるが、議論を重ねたところいくつか今後に向けての課題があり、その課題を踏まえての第2次計画素案ということである。
委員	9ページ「基本目標3 健やかな体の育成」について、「身体」という漢字もあるが、「体」の方がふさわしいのか伺いたい。
千葉参事	第1次計画の2ページをご覧いただきたい。「基本目標3 健やかな体の育成」の主要施策としては「学校保健の充実」「学校給食・

	<p>食育の充実」「体力の向上」があり、第1次計画策定時においては「体」という漢字がふさわしいと判断したものである。</p>
会長	<p>国の方でも「体」という漢字を使用しているのであろう。第1次計画では、意味があつて「体」を使用したということである。</p>
委員	<p>16ページ「基本目標5 郷土の伝統・文化の継承」の今後の課題3つ目に「郷土資（史）料を後世に伝えるための保存施設の整備に向けて検討する必要があります。」とあるが、第1次計画30ページでは、主要施策（2）ふるさと研究活動の推進の中で、「博物館の実現に向けて、自然・歴史等の資料を収蔵・展示・研究できる収蔵庫の設置に努めます。」と書かれている。</p> <p>今後の課題として、博物館の実現に向けてといった表現があつた方がよいのではないか。</p>
木村参事	<p>博物館については長年の課題であり、解消していないため今後も取り組んでいく。博物館という言葉については、莫大な費用がかかるといったイメージが先行してしまうため、今後の課題においては、本質的な内容を記載したものである。表現の仕方については検討していく。</p>
委員	<p>9ページ「基本目標3 健やかな体の育成」のこれまでの取組と成果4つ目に「新体力テストの評価結果について、児童生徒や各学校の成果・課題を明らかにする資料として様々な形で活用し、平成29年度の市平均値は、小学生は、県平均をやや下回ったものの、中学生は、県平均を上回っており、最高値を更新しました。」とある。</p> <p>第2回審議会では「5年後、10年後を見据えた教育に関する分野ごとの課題」として、「運動をする子供としない子供の二極化」が挙げられているが、今後の課題では子どもの体力向上には触れないのか。</p>
美甘部長	<p>今後の課題4つ目に「家庭や地域と連携し、児童生徒へ運動に親しむ機会を提供するとともに大学生や専門家による専門的な指導を積極的に取り入れ、児童生徒が運動好きになり、体力向上を図れるよう取り組む必要があります。」という形で入れている。教育振興基本計画の部門別の計画として「スポーツ推進計画」があり、細かい部分も掲載している。</p>
委員	<p>市民の方にわかりやすいように、事業名など浸透が不十分なものについては、注をつけて説明するとよいのではないか。</p>

会長	注をつけて市民の方にもわかりやすくということであった。「学び創造アクティブプラン」など、大変重要な活動なので、市民の方にわかりやすく紹介できるとよい。あまり注はつけないものであろうか。
安田主幹	第1次計画でも注はつけており、検討させていただく。
会長	続いて本日の審議の中心である第3章17ページから19ページまでについて議論をさせていただきたい。
事務局	(3) 第2次所沢市教育振興基本計画素案の「第3章」について第2次所沢市教育振興基本計画素案（第3章まで）に基づき説明
会長	忌憚のない意見をいただきたい。 17ページ「1 基本理念」は、第1次計画の基本理念（6ページ）を引継いでいるということによろしいか。
事務局	その通りである。
会長	18ページ「2 基本方針」は、第1次計画の基本方針（7ページ）を引継いでいるというイメージでよいか。
事務局	第1次計画では、「基本方針1 義務教育修了までに、すべての子どもに自立して社会で生きていく基礎を育てます」と「基本方針2 あらゆる世代が生き生きと輝く地域づくりを目指します」の2つの基本方針であったが、第2次計画素案では、18ページの通り3つの基本方針とした。
会長	19ページ「3 計画全体を貫く視点」は、第2次計画で新たに設けたということである。 まずはご意見いただければと思うが、いかがか。
委員	教育大綱について、平成30年4月に新たに策定されたかと思うが、どのように踏まえたのか説明いただきたい。また、3ページ「4 計画の位置付け」において、第2次計画と教育大綱が点線でつながっているが、その意味も併せてうかがいたい。
会長	教育大綱が、第2次計画にどのように反映されているかとの質問であったが、いかがか。

<p>千葉参事</p>	<p>教育大綱との関係性を説明するにあたって、まずは、3ページ「4 計画の位置付け」の点線について説明したい。</p> <p>教育大綱は、地方公共団体の長すなわち市長が、教育委員の方々と総合教育会議を通して協議し、教育に対する想いを綴ったものであると捉えていただければと思う。</p> <p>これまで教育については、教育委員会が司っていたものであるが、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正に伴い、市長部局も密接に教育に関わっていることから、教育大綱を定めることとなったと捉えている。</p> <p>3ページ「4 計画の位置付け」をご覧くださいと、上位計画として「第6次所沢市総合計画」がある。教育分野に関しての詳しい計画が「第2次所沢市教育振興基本計画」である。</p> <p>教育大綱については、市長の教育に対する想いであるため、直接のつながりはないが、市長部局と連携していく必要があることから定めたものであるため、点線で関係を表したものである。</p> <p>次に、第2次計画策定にあたって、教育大綱をどのように踏まえたのか、という質問について説明したい。</p> <p>教育大綱を策定するにあたっては、第1次計画の理念を踏まえており、考え方の方向に齟齬が生じないように協議してきた経緯がある。教育大綱は、平成28年度から29年度の2箇年にわたって、数度の総合教育会議を経て策定したものである。したがって、教育大綱については、所沢市が掲げている教育の理念を十分に意識して策定したものである。</p>
<p>会長</p>	<p>教育大綱については、市長の想いがこもったものであり、直接に関連というよりは点線で表わしたものと理解した。</p> <p>基本理念については、知・徳・体のような形で変わらないものであることから踏襲し、施策を形にするにあたり中間的な考えが必要なことから基本方針があり、計画全体を貫く視点がオリジナルな視点であり、施策に具体的につなげていく役割かと思う。</p> <p>全体を整合性のある構造として理解するのは、なかなか難しいものである。</p>
<p>委員</p>	<p>4ページ「5 教育大綱」の上から3行目に「総合的な施策の大綱を定めるものとする」とある。市民の方が読んだときに、教育大綱がベースにあり、その中に第2次教育振興基本計画があるように捉えられてしまう。表現を少し変えた方がよいのかもしれない。また、最初に教育大綱があるために、重要性が大変高い印象となり、教育大綱がベースにあるように思われてしまう。</p>

副会長	教育大綱は、市長が変わったときには変わるものなのか。
千葉参事	教育大綱は市長が策定するものであるため、文部科学省の通知においても、期間は概ね4～5年を想定している。次の市長の教育に対する想いが現行と違うのであれば、教育大綱も変わるものと理解している。
副会長	市長が変わったときに新たに教育に対する想いが表現されるのであれば、今後のことを考えると、教育振興基本計画と教育大綱は直接関係というよりは、点線で表現にとどめたものと理解した。
会長	<p>教育委員会としては工夫して点線で表現したものであろう。教育大綱の説明の中で、点線の意味を表現できるとよいという意見であった。検討いただければと思う。</p> <p>17ページに戻るが、「1 基本理念」は第1次計画を引継いでおり、18ページの「2 基本方針」は地域や教育環境についての方針が新しく設けられており、19ページの「3 計画全体を貫く視点」も新しく設けられている。文章等もご覧いただき、意見をいただきたい。</p>
千葉参事	<p>会長からも説明いただいたように「3 計画全体を貫く視点」は第1次計画にはなかった視点である。</p> <p>掲げた理由としては、1点目は、これまでの教育行政は教育委員会の中で完結する傾向にあったが、これからは環境や福祉、子育て、コミュニティなど様々な分野との連携が必要であることを強く意識したことである。</p> <p>2点目として、所沢らしさを第2次計画にどのように反映したらよいか考え、「ふるさと所沢が持っている地域資源を生かした教育」の視点を掲げた。「所沢らしさ」を少しでも出していきたいという思いを込めている。</p> <p>3つ目は、これまでの審議会を踏まえ、今後の5年先、10年先を見据えたときに、今後の子どもの自立であるとか、様々な課題の解決を考えたときに、ESDの視点は意見としても強くいただいていたことから、「持続可能な社会づくりの担い手を育む教育」について掲げたものである。</p> <p>この3つの視点が計画を遂行する上で非常に重要ではないかと考え、計画全体を貫く視点として掲げたものである。</p>
会長	<p>以上の3つの視点は「4 施策体系図」においても掲げられており、非常に重要であるとのことであった。</p> <p>第3章を事務局で読み上げていただきたい。</p>

事務局	第2次所沢市教育振興基本計画素案（第3章まで）に基づき第3章を読み上げ
会長	第3章についてご意見いただきたい。
委員	18ページ「2 基本方針」の基本方針2、あるいは基本方針3の説明文章について、第1次計画7ページ下から5行目「…学校運営における様々な場面で地域の方々から積極的な協力を頂いています。地域の様々な人材が学校の特色、魅力を引き立たせてくれるのです。これからも、学校・家庭・地域が一体となって地域総がかりで教育に取り組めるよう、地域社会の「絆」を深めていきます。」とった文章を加えられないか。
会長	<p>大変いいご意見である。</p> <p>絆を深めているイメージがさらに基本方針2、あるいは基本方針3に反映されるとよいのではないか、ということであった。地域とのつながりを意識して基本方針3を新しくつくったということで、意識はされていると思うが事務局いかがか。</p>
安田主幹	事務局としては、18ページ下から2行目「…地域や関係機関と連携を深め、」という言葉で表現をしたところであるが、ご意見いただいたように第1次計画にあったような要素もあるため、文言については検討させていただく。
委員	<p>「1 基本理念」「2 基本方針」「3 計画全体を貫く視点」「4 施策体系図」とあるが、「3 計画全体を貫く視点」が「1 基本理念」「2 基本方針」と並んでいることに少し違和感がある。</p> <p>基本理念、基本方針があり、その全体を貫く視点であることは、説明を聞き施策体系図を見ればわかるが、説明を聞く前に読んだ際にわかりづらく感じた。</p>
会長	「計画全体を貫く視点」という横軸を設けていただいた中で、基本方針、基本理念という縦軸と並んでいることに違和感があるものと思う。
美甘部長	20、21ページの「4 施策体系図」を見ていただくとわかりやすいが、3つの基本方針があり、そのもとに基本目標があり、主要施策がある。そしてそれらを実現していくための視点が「計画全体を貫く視点」となっている。掲載場所となると難しいが、やはり基本方針、基本目標を説明した上で、実現していくために

<p>副会長</p>	<p>必要な視点を説明する流れになると思う。</p> <p>市の大きな計画として第6次総合計画があるが、第5次計画では「総合的に取り組む重点課題」、第6次計画では「リーディングプロジェクト」として、特に重点的に進める施策を強く打ち出している。</p> <p>「計画全体を貫く視点」については、事務局でも「計画全体を貫く」という文言がよいのかという意見もあった。この審議会でも様々な意見をいただいて、反映していきたい。</p> <p>20、21ページの「4 施策体系図」を見ると理解できると思うが、構造がわかりにくいという見方もあるので、図を少し考えるという手もあると思う。</p> <p>第1次計画では社会教育と学校教育の2つの方針であったが、3つ目の方針「地域とともに社会に対応した教育環境をつくります」が加わり、よいと感じた。</p> <p>校長のときに感じたが、学校教育だけでは救いきれない子どもたちがたくさんおり、貧困であるとか家庭の問題がたくさんあった。そういったとき、地域とどのように連携し、市役所のどの分野と連携していったらいいのか悩み、足も運んだ。</p> <p>21ページを見ると、様々なところと連携しながら教育環境をつくっていくという面があり、新たに連携を強化していくという意味で非常によいと感じた。</p> <p>新しい学習指導要領では、「社会に開かれた教育課程」を謳っているが、それにも合った素案になっていると感じた。学校現場で非常に助かる部分もあると思う。</p>
<p>委員</p>	<p>19ページ「3 計画全体を貫く視点」について、長谷川委員と同様の感想である。1つ目のように「取り組みます」で終わるのはよいが、2つ目の「目指します」、3つ目の「進めます」で終わるのは、目標のように見えてしまう。「4 施策体系図」で横軸にあるのは、こういったアプローチで基本方針を実現していくのか、解決の方法であるからと思う。3つの視点の説明文章も目標に見えるため、表現の仕方を工夫していただくとよいと思う。</p>
<p>会長</p>	<p>20ページ、21ページを見ると、基本方針が3つあり、そのもとに基本目標、主要施策がある。3つの視点を持って、施策に取り組んでいくということである。構造はよくできており、3つの視点はオリジナルで時代に対応したものであるが、表現に工夫が必要ということであった。</p>
<p>美甘部長</p>	<p>第6次総合計画では特に重点を置いて進める取り組みを「リー</p>

	<p>ディングプロジェクト」としているが、関連する取り組みが紹介されている。計画全体を貫く視点についても、文章だけではなく、取り組みの具体例を記載するといった工夫をしてもよいと感じた。</p>
<p>会長</p>	<p>情報化社会への対応やセキュリティ対策にしても、予算が伴い、学校だけでは対応できない。教育施設課やIT推進課といった専門の課や、場合によっては企業と連携が必要である。教育の問題はかなり広範囲であり、横断的に取り組まないと問題解決できないという視点は重要である。そういった重要な視点が3つあり、基本目標や主要施策にとって横断的な軸となっている。そういった趣旨が伝わるように工夫できるとよい。</p>
<p>美甘部長</p>	<p>今後計画の素案については、市長部局の次長級職員で構成される庁内検討会議にも示していく。例えば、市の公共施設のうち52%は教育委員会所管だが、建物の老朽化は市全体の問題であり、経営企画部で総合的に進めている。教育委員会だけでは解決できない問題がたくさんあるため、こうした検討会議の場でも議論していくことが必要である。</p>
<p>会長</p>	<p>学校評議員をしているが、学校は、放課後市民の方が利用していたり、場合によっては防災拠点や地域の文化センターになっていたりと多機能であり、様々な施策と関連している。</p> <p>所沢の地域資源を生かすなどもいい視点であり、3つの視点は20、21ページではうまく表現できているように思う。ご指摘いただいたように目標にならないよう留意いただけるとよい。</p>
<p>委員</p>	<p>1点目として、計画全体を貫く視点については、表現の仕方の問題かと思う。視点がいいのか、思想、考え方といった表現がいいのか、文言を考えていただくのと、図での表現を工夫し、横断的なイメージが伝わるとよい。</p> <p>2点目として、第2次計画では、第1次計画と取り巻く環境が変化している。教育大綱が新たに策定され、市の総合計画が第6次、国や県の教育振興基本計画は第3期となっている。期が変わり、新たに取り組むべきことや、新たな視点が生まれたのか、大きく変化した点と第2次計画への影響を伺いたい。</p>
<p>千葉参事</p>	<p>国の計画や市の総合計画は上位計画であるため、基本的には変化した点も含め、参酌している。国の第3期教育振興基本計画の答申では、社会状況の変化として、人口減少、グローバル化、貧困、地域間格差が挙げられている。具体的には、AI（人工知能）</p>

	<p>の進展に伴った教育の在り方について言及されている。所沢市としては、参酌しながらも、地域の実情を踏まえて表現していく。</p>
美甘部長	<p>5、6ページの「教育を取り巻く社会の動向」に挙げられている社会の動向が、新しく取り組むべきことにつながっている。例えば、「能力発揮機会の不均衡」はすべての子どもたちに能力発揮の機会を与えること、「情報化・グローバル化の進展」はICTの活用、「地球規模の課題への対応」は持続可能な社会づくりに向けた教育、といった社会の動向を踏まえた取り組むべきことを、計画に盛り込んでいる。</p>
会長	<p>20ページ、21ページ「4 施策体系図」について、事務局から簡単に説明いただきたい。</p>
事務局	<p>第2次所沢市教育振興基本計画素案（第3章まで）に基づき説明</p>
会長	<p>「4 施策体系図」は次回審議会で審議を行うのか。</p>
事務局	<p>主要施策について審議いただく予定である。</p>
委員	<p>主要施策に「幼児教育の推進」が第2次計画にない理由を伺いたい。</p>
千葉参事	<p>意図をもって外したものではない。本日は過不足がないかどうかも含めて意見をいただきたい。</p>
委員	<p>主要施策は課題を反映しているものと思う。課題がどの主要施策につながっているのか、課題として挙げられているが主要施策にないもの、第1次計画にあったが第2次計画にない主要施策といった一覧があると審議しやすいと思う。</p>
千葉参事	<p>次回審議会の前にお示しできるよう準備したい。</p>
会長	<p>「第2章 第1次計画の成果と課題」の課題を踏まえ主要施策があるので、関連がわかるものがほしいということであった。</p>
委員	<p>1点目として、基本理念について、特に「心身のたくましさ」が子ども、青少年向けの表現に思う。基本目標・主要施策は幅広い世代を対象としているため、整合性を図るために、基本理念の説明文章を世代共通の表現にした方がよい。</p>

<p>美甘部長</p>	<p>2点目として、基本方針3の主要施策「多様なニーズに対応した教育機会の提供」が、第1次計画にはなかった第2次計画での新しい要素と思う。中退者、退学者、外国人の増大に対応していく方向という理解でよいか。</p> <p>1点目の基本理念については、学校教育に特化した理念に思われてしまう部分があるため、説明文章の表現については工夫していく。</p> <p>2点目の主要施策の具体的な内容については、次回の審議会でお示しできるものと思う。</p>
<p>会長</p>	<p>順番に意見をいただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>総じて素晴らしい理念のもとにつくられていると感じた。計画全体を貫く視点について、市民の方に理解できるように、主要施策にどのようにつながっているのか、工夫して表現できるとよい。</p>
<p>委員</p>	<p>計画全体を貫く視点について、「貫く」という表現が気になる。計画全体を貫く視点は、最後にあってもよいと感じた。</p>
<p>委員</p>	<p>「教育を取り巻く社会の動向」で社会の動向を見極め、「第1次計画の成果と課題」で今までの取組を検証し今後の課題を明確にしながら、素案をつくられているのがよくわかった。その思いが形になるとよいと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>文章だけではわかりづらいので、図があるとわかりやすい。教育大綱、背景、基本理念、基本方針、計画全体を貫く視点を図で表わしていただくとよい。計画全体を貫く視点という表現はわかりづらいので、工夫いただくとよい。</p>
<p>委員</p>	<p>基本方針が3つになったのは安定感があってよい。基本目標については、市民の方がわかりやすいように、コンパクトに本質をつく表現が出来ればと思う。議論に参加させていただきたい。</p>
<p>会長</p>	<p>1ページもしくは2ページで、基本理念、基本方針、基本目標、主要施策、計画全体を貫く視点を表わす構造図があるとよい。成果と課題を踏まえて、緻密に考えられていると思うので、それが伝わるような図があるとよい。</p>
<p>副会長</p>	<p>非常に良く出来ていると感じた。5年という計画期間を踏まえて、計画全体を貫く視点を考えたものと思う。どのように生かし</p>

	ていくか次回の審議会でも伺えればと思う。
委員	文字だけでは伝わりにくいところもあると思うので、図式や絵で表現していただくと構成がわかりやすい。計画全体を貫く視点は、第1次計画になかったものであり、意義があると思う。新しいもののため様々な意見があったが、考えが伝わるよう表現できるとよい。
委員	1つ1つは意味が理解できるが、全体のまとまりがわかりづらいので、文字だけでなく図があると全体がわかりやすいと感じた。
委員	表現の仕方について、詳しすぎると難しくなってしまうたり、簡素化すると言葉が足りなくなってしまうたり、難しいと感じた。
委員	19ページの計画全体を貫く視点が重要だと感じた。3つ目のESD教育2段落目2行目について、「公平性（誰も犠牲にしない）」とあるが、公平性の意味を調べると「全てのものと同じに扱う」「判断や処理が偏っていない」とあるので、括弧内はよりよい表現があるのではないかと思う。
事務局	(4) その他 次回第5回審議会は、平成30年7月12日（木）午前中を予定している。
会長	緻密に考えられているので、市民の方にも伝わるような計画になるとよい。次回も重要な部分になるので、様々な意見をいただければと思う。
美甘部長	教育の分野は多方面から注目されている。しっかりとした計画を市民の方に示せばなによりである。今後も協力をお願いしたい。
岩間部長	大所高所から意見をいただき、ありがたく思う。見えていなかった点や、考えさせられる点が多々あった。第1次計画は学校教育に重点を置いた印象だが、第2次はより広い視野から先を見据えた表記や内容になっていると思う。今後ご助言をいただければありがたい。
事務局	閉会